

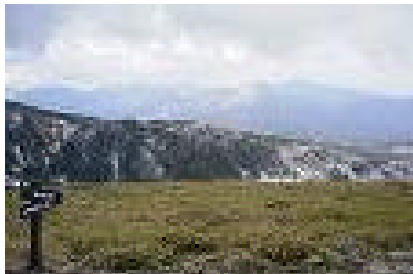
【イチ押しイベント】

菅平ロゲイニング

オリエンテーリングと
アドベンチャーレースの接点

2004年6月27日開催予定

Team 白樺



2千標級の山頂は高得点ポイント

激走！9時間ロゲイン！？

ロゲイニングは、大規模なスコア・オリエンテーリングとも言われるが、その中身はアドベンチャーレースのような過酷な部分も持っている。今回はロングクラスでは9時間での競技時間を予定しているが、トップチームは、水平距離で言えば70km以上、垂直距離でも3000m近くは移動するのではないだろうか。競技が長時間に及ぶので、参加者は最低限の水や食料を携行する事になるし、夜間に備えたヘッドライトも必要となる。

競技開始は夜明け前！？

現在主催者が計画している開催案では、9時間の部は午前3時にスタートし正午にゴールするというものを考えている。夏至の時期の開催なので、スタートして1時間もすれば明るくなり始めるだろうが、ヘッドライトの装備や暗い時間帯のルート取りも作戦の重要な鍵となるだろう。フツのオリエンティアでも参加できるショートコースは3時間程度の競技時間を予定しているが、こちらは全て日中に行われる予定である。

調査者の野望

信州・菅平高原を拠点とする Team 白樺は、過去に開催された菅平高原での数々のオリエンテーリングイベント運営に関わってきた集団である。イベントを開催するため、10年ほど前から菅平市街地に近い部分から O-MAP の拡大調査が行われ始め、そのエリアは徐々に拡大し、GPS などの技術を導入した結果、標高1700m付近にまで達するようになった。しかしそれより高い部分は根子岳(標高2207m)と四阿山(標高2354m)という山岳の厳しい自然が待ち構える世界で、GPS 等があったとしても容

易に調査を行える場所ではなかった。しかし、信州を見下ろすこの2つの高峰の山頂にポストを置いて大会をやってみよう！ 運営者の誰もそう思っていた。そのオリエンテーリングでは不可能だった夢をロゲイニングがかなえてくれた。2003年5月11日の大会では根子岳の山頂付近にまで赤と白のフラッグがたなびいたのである。2004年は積雪の影響が少ない6月に開催されるので、さらに天に近いところに赤白マークが設置されることだろう。

手の活躍が目立つようになって来た。競技エリアが広がれば広がるほど、設置位置の難易度は下がる傾向にある上、9時間もの競技時間は長丁場のレースに慣れているアドベンチャー系には有利だろう。オリエンティアにとってはまさに未知の世界だが、果敢にチャレンジする選手が多く出ることを期待している。

本場・ガイコクジンロゲイナー参戦か？

日本には意外と多くのオーストラリア人がいて、国際ロゲイニング連盟を通じて今回の大会に興味を持っている人もいるという。今年はそうした本場を知る人々が参戦するかもしれない。

開催概略

開催日

2004年6月27日(日)

(受付は前日夕方)

開催場所

長野県菅平高原一帯

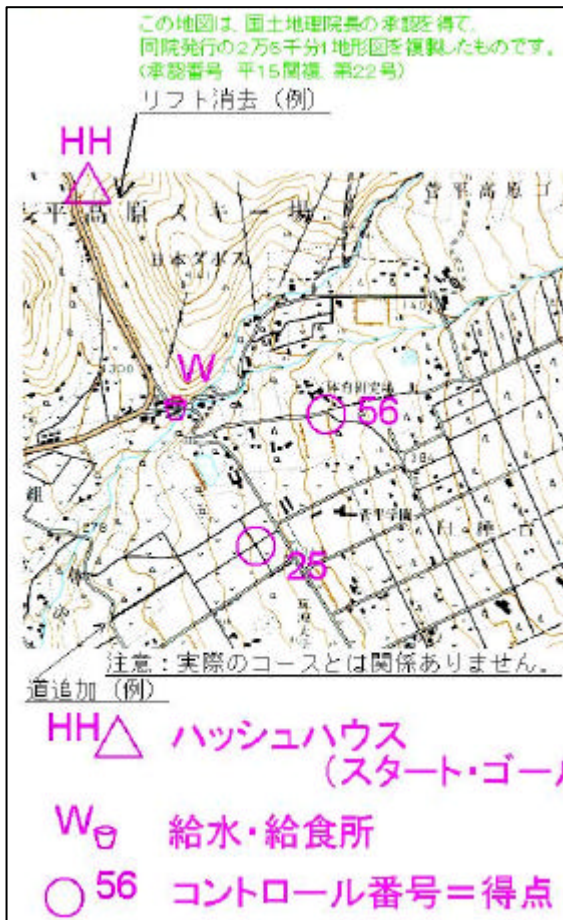
開催種目(予定)

9時間の部(2-5名グループ)

3時間の部(ソロ)

詳細はホームページにて公開予定。

<http://orienteering.hp.infoseek.co.jp/rogaine/index.html>



オリエンティアか？

アドベンチャーレーサーか？

このロゲイニングという新しいジャンルのスポーツにはいろいろな分野のスポーツ選手が参加してくるのも楽しみの一つである。オリエンテーリング系のチームが運営を行っているので、参加者層はオリエンティアが多くなっているが、年々各方面の選手にも情報が浸透し始めてきていて、アドベンチャー系の選手なども数多く参加するようになって来た。2年前のロゲイニング大会では、O-Map そのものを使用していたため、オリエンティアの技術と速さが光っていたが、昨年は1:25,000地形図を使用(O-Map 参照可)し、競技時間も延ばしたため相対的にアドベンチャー系の選

世界選手権

日本代表選手募集中！

5月8・9日には、アメリカアリゾナ州において、ロゲイン世界選手権が開催される。

もちろん、競技時間はフル形式で24時間。MAPは5万分の1地形図を用い、競技エリアは250平方km以上との情報である。各国代表選手枠に制限はなく、誰もが日本代表選手になれるまたとないチャンスである。

orienteering@infoseek.jp (担当：高島)まで、お気軽にご連絡下さい。

(Team 白樺)